

オンデマンド配車システムによる「交通空白地域」の買物支援タクシー

応募様式A

下田市 交通空白地域 支援プロジェクト

事業の基礎情報

実施主体	伊豆東海タクシー株式会社
事業実施地域	静岡県下田市
共創の類型	交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	こども・子育て 商業・農業
共創パートナー	ヒフミタクシー株式会社、株式会社栄協、下田市中心部の商業施設
運行形態	①乗合タクシー ②一般乗合旅客自動車運送事業（道路運送法第21条を想定）
運行主体	伊豆東海タクシー株式会社、ヒフミタクシー株式会社、株式会社栄協

現状・課題

（地域交通の現状・課題に関する分析）

自家用車の普及とともに、人々は高いモビリティを獲得した反面、地域の公共交通利用者は激減しています。その結果、公共交通がビジネスとして成り立たない地域が生まれ。民間の公共交通事業者だけでは、社会的に必要なサービスが供給されない状況が発生しています。本プラットフォームでは、上記理由により公共交通が存在しない地域において、日常生活に生活に不可欠な「買い物」を主目的とする買い物支援タクシー（オンデマンド配車システム）を導入して、①車を持たない高齢者や子どもの移動手段確保（親族等の送迎に頼らない交通整備）、②タクシー事業者の収益性向上、③行政負担の削減、を目指します。

地域公共交通計画への位置づけ
（位置づけ予定を含む）

有

運輸局・運輸支局への事前相談

有（中部運輸局）

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

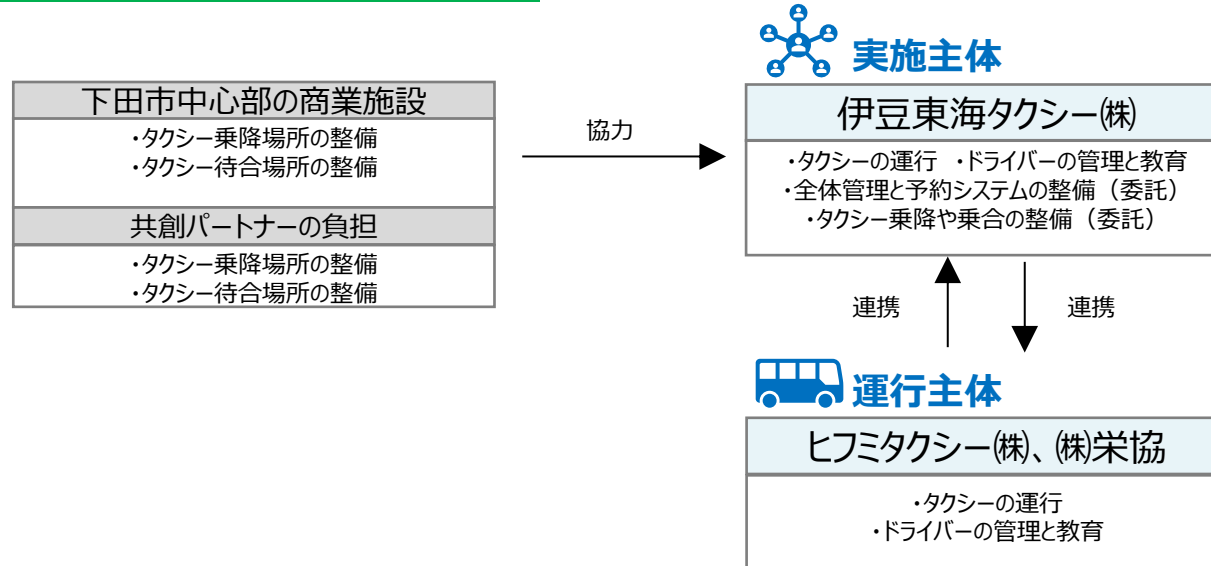
無

オンデマンド配車システムによる「交通空白地域」の買物支援タクシー

応募様式A

下田市 交通空白地域 支援プロジェクト

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

（事業の概要）

下田市と協議し、実証地域は公共交通が存在しない地域で行います。日常生活に不可欠な買物（商業施設等）を目的地としたタクシー予約システム（スマートフォンアプリ等）を導入し、予約における利用者およびタクシー事業者の負担軽減を行います。システムからの予約をAIが集約し、1運行あたりの利用者数を最大化、運行コストを最小化するルートを作成します。利用者にはシステムを通して、迎車時間等の連絡をします。

（地域の関係者との連携・協働）

下田市内の全てのタクシー事業者（3社）が連携して事業を行います。

商業施設（伊豆急下田駅周辺）は、タクシー乗降場所および待合場所を整備し、安全快適に利用できる環境を構築します。

（地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性）

下田市中心部の商業施設を拠点として、既存交通（鉄道や路線バス等）への乗り継ぎによる広域移動も可能です

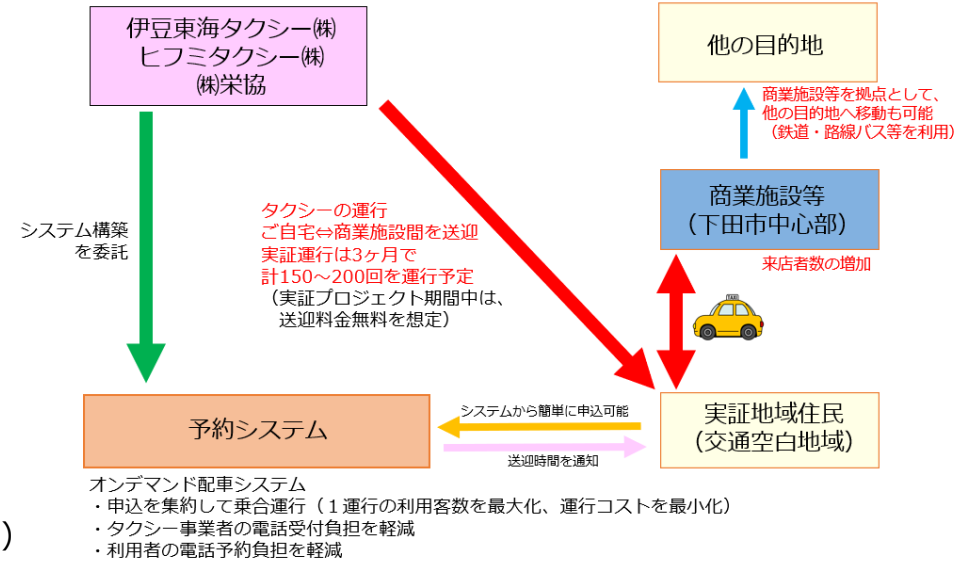
オンデマンド配車システムによる「交通空白地域」の買物支援タクシー

応募様式A

下田市 交通空白地域 支援プロジェクト

事業実施手順・スケジュール

- ① 7月～ : 実証地域の選定（伊豆東海タクシー、ヒフミタクシー、栄協）
 - ② 8月～9月：配車システムの構築（委託）
実証地域住民への告知（委託）
乗降場所や待合場所の整備（下田市の商業施設）
 - ③ 10月～1月：実証運行（伊豆東海タクシー、ヒフミタクシー、栄協）
※3社で時期をずらして、のべ150回～200回の運行を想定
利用者アンケートの実施と集計（委託）
 - ④ 2月 : 実績報告（伊豆東海タクシー、ヒフミタクシー、栄協）
事業継続について検討
（伊豆東海タクシー、ヒフミタクシー、栄協、下田市の商業施設）
- （参考イメージ）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
伊豆東海タクシー				地域 選定	システム構築		実証運行				実績 報告		
ヒフミタクシー									実証運行				
栄協										実証運行			
下田市の商業施設						乗降場所等の整備							

オンデマンド配車システムによる「交通空白地域」の買物支援タクシー

応募様式A

下田市 交通空白地域 支援プロジェクト

取組の詳細

（地域交通にもたらされると想定される効果）

・地域住民への効果

車を自由に使えない高齢者や学生が、親族等の送迎に頼らなくても暮らすことができる。

送迎は女性が行うことが多い現状があるが、送迎負担が軽減することで、女性の社会進出・子育てがしやすい環境が整う。

（地域全体に及ぶと想定される効果）

・タクシー事業者および自治体への効果

1 運行あたりの利用客数の最大化、運行回数と運行コストを最小化することで、収益性が向上する。定期的な需要によるドライバー不足からの脱却。
地域住民に利便性の高い交通を提供することができる。予約に応じた運行により、交通維持のための赤字補填を減らすことができる。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

☐	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	☐	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
☐	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	☐	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

（補助事業実施後の予定）

・利用実績やアンケート結果をもとに、タクシー利用者・タクシー事業者ともにWINWINとなる仕組みを模索していきます。

将来的には、定期券（1ヶ月定額制）の運賃形態を導入して利用者数を増やし、タクシー事業者の収益確保を目指します。

資金面	タクシー運賃・・・伊豆東海タクシー、ヒフミタクシー、栄協 アプリ製作・・・伊豆東海タクシー（プラットフォーム外部に委託） アンケート集計等・・・伊豆東海タクシー（プラットフォーム外部に委託）
人材面（運転手の確保）	実証期間中は、各タクシー事業者（伊豆東海タクシー、ヒフミタクシー、栄協）の運転手が運行を担当します。 次年度以降に継続的な運行が見込まれる場合は、各タクシー事業者がドライバーの新規雇用も検討します。